第3回 瑞浪市まちづくり条例審議会

会 議 録 (案)

日 時：平成26年9月16日（火） 午後7時00分～午後9時05分

場 所：市役所 2階大会議室

日程

1. 開会

2. 会長あいさつ

3. 前回会議の結果について・・・資料1

4. 協議事項

(1) 瑞浪市まちづくり基本条例（第4案）について・・・追加資料1

5. その他

今後の予定について・・・資料3

6. 閉会

《配布資料》

資料1 第2回瑞浪市まちづくり条例審議会会議録

資料2 瑞浪市まちづくり基本条例（案）

資料3 まちづくり基本条例 議案上程スケジュール

追加資料1 瑞浪市まちづくり基本条例（第4案）

追加資料2 瑞浪市まちづくり市民会議設置条例（案）

出席者

出席委員

加藤 博之

伊藤 光昭

中山 征治

水野 勝人

古田 憲三
中根 圭一
鈴木 誠
林 勇人
西尾 紬
小倉 由佳梨
田中 茂
山内 正雄
宮地 友実

欠席委員

永井 恒
板橋 仁晃
大森 建生
渡邊 勝利
小木曾 正尚

【名簿順 敬称略】

事務局 渡邊 俊美（まちづくり推進部長）
鈴木 創造（市民協働課長）
梅村 修司（市民協働課課長補佐兼まちづくり支援係長）
隅田 一弘（市民協働課まちづくり支援係主査）

1. 開会

事務局

こんばんは。定刻となりましたので、ただ今から第3回瑞浪市まちづくり条例審議会を開催させていただきます。

本日の会議につきましては、5名の委員が欠席されていますが、出席委員が過半数に達しており、会議は成立しておりますのでご報告させていただきます。なお、この会議は公開会議となっております。傍聴者の方が来られましたら入室いただきますのでよろしくお願ひします。

ここで、渡邊まちづくり推進部長よりごあいさつを申し上げます。

渡邊部長

こんばんは。平日の夜にもかかわらずご出席をいただきありがとうございます。

現在、9月議会の開催中です。議会では、このまちづくり基本条例に先立ち、議会基本条例が制定されました。この議会基本条例は、議員の果たすべき役割や議会の基本的な事項について定めた条例です。このまちづくり基本条例も、市民、議会、行政の果たすべき責務や役割について定め、市民主体のまちづくりを進めるための、市にとって大変重要な条例となります。今回で3回目の審議会となりますが、慎重審議をお願いしまして、簡単ですがあいさつに代えさせていただきます。

事務局

ここで、本日の会議資料の確認をさせていただきます。配布資料につきましては、レジメの最下段に記載しておりますが、資料1から資料3までは事前にお送りしております。また本日の追加資料としまして、追加資料1 瑞浪市まちづくり基本条例(第4案)、追加資料2 瑞浪市まちづくり市民会議設置条例(案)がございます。過不足等があれば事務局までお申し出ください。

よろしかったでしょうか。それでは、レジメに沿って進めさせていただきますが、冒頭部分は便宜上事務局で進めさせていただきます。

2. 会長あいさつ

事務局

では、中山会長からごあいさつをいただきます。

中山会長

皆さんこんばんは。今日は7時からの会議ということですが、皆さんそれぞれお忙しい中、またお疲れの中お集まりをいただきありがとうございます。今日は、パブリックコメントにかける条例案を皆さんで審議し、まとめることとなります。前回、

第2回の会議では、限られた時間の中ではございましたが、皆さんに様々なご意見をいただき、条例案の最後まで審議をしていただきました。本日も慎重審議をしていただきますよう、よろしく申し上げます。

3. 前回会議の結果について

事務局 ありがとうございます。以降の進行は、会長の司会により進めていただきます。会長お願いいたします。

中山会長 レジメに沿って進めます。

 前回会議の結果についてです。資料1です。この会議録は、既にご出席いただいた委員の皆さんにご確認をいただいておりますが、前回の会議結果を踏まえたものとするために、皆さんに再確認するものです。事務局より説明をお願いします。

事務局 【資料1に基づき説明】

中山会長 ありがとうございます。この会議録での意見は、今回の条例案に反映されていると思いますが、ご意見、ご質問等があれば伺います。

委員 【意見・質問等なし】

中山会長 それでは、特にご意見等はないようですので次に進みます。

4. 協議事項

(1) 瑞浪市まちづくり基本条例（案）について

中山会長 本日の協議に入っていきます。4. 協議事項の(1) 瑞浪市まちづくり基本条例（第4案）についてです。本日の追加資料1です。ただいま事務局から説明がありましたが、この資料は、第2回の審議会の意見を踏まえ、その後、市役所内の法令審査委員会で検討され、かなり修正点があるということです。そのことを確認いただきながら順番に検討したいと思います。先ずは、目次と前文について事務局より説明をお願いします。

事務局 【追加資料1に基づき説明】

中山会長 ありがとうございます。今、目次と前文について事務局より説明がありました。黒字の修正点はこの審議会委員からの意見等により修正したところ。赤字の修正点は市の法令審査委員会の指摘により修正したところ。青字のところは、この審議会で再度考え方を整理するところということです。目次のところは、委員からの意見により修正したということです。前文のと

ころも、法令用語上のルールによる修正は説明のあったとおりですが、青線のところで、「いきいきと」という表現は、事務局案はこのまま使用したいということですが、皆様のご意見はいかがでしょうか。

委員 【意見・質問等なし】

中山会長 それでは、特にご意見等はないようですので、ここは、「いきいきと」という表現とします。

次に、1ページの最下段「地方自治は日本国憲法で保障されていますが、その本旨は、・・・」というところですが、これは、事務局の説明のとおり、最高裁の判例でも地方自治は憲法で保障されていると解する事例があるということですが、この表現について、皆様のご意見はどうでしょうか。

委員 【意見・質問等なし】

中山会長 特にご意見等はないようですので、ここも、事務局案のとおりとします。

では、条例の本文に入っていきます。3ページですが、第1章総則、第1条から第2条までを検討していきたいと思います。事務局説明をお願いします。

事務局 【追加資料1に基づき説明】

住民については、地方自治法第10条を抜粋し説明。

市民とは市に居住する住民に市内に通勤・通学する人、市内で活動する個人・法人・その他の団体を加えることとして説明。

市民を広義にとらえた理由として次のように説明。この条例は、瑞浪市の自治体運営を意味する「自治」のみならず協働を基本とした「まちづくり」全般に関する条例なので、市民を広義にとらえることにより、条例の前文に掲げる基本理念を実現する可能性が高まるものと考えます。

行政と執行機関は、同義ではなく、行政が執行機関を含む関係にあることを説明。

中山会長 ただ今、第1条から第2条まで説明をしていただきました。

第1条は、条文の「並びに」、「並びに」を削除し、「、」表記としています。法令用語上のルールによる修正です。第2条の定義のところは、法令用語上のルールによる修正と、説明のところは書きぶりを統一したということです。その他、市民と住民、行政と執行機関についても説明を受けました。皆様のご意見はいかがでしょうか。

- 委員 4ページの第5号「行政」の説明ですが、説明がまわりくどかった気はしますが、それはそれとして、最後の「また、執行機関としての市長には、消防や公営企業である水道事業も含まれます。」ということですが、「市長には～事業が含まれる」という表現で良かったのでしょうか。
- 事務局 確かに「市長に～事業が含まれる」という表現はおかしいです。市長は水道事業の管理者ですので、表現を改めたいと思います。消防についても「事務を行う。」等に改めます。
- 委員 ここは、第12条の「市長」の説明ところの表現に合わせて説明されたら良いと思います。
- それから、第5号の説明は少し長いので、このように改めたら良いと思います。「～執行機関のことを言います。なお、市長には第12条の説明にあるように・・・」と。「なお」の使い方については検討いただければ良いと思いますが、少し説明が長いので、すっきりした方が良いと思います。内容については、これで問題ないと思います。
- 中山会長 事務局、修正するというので良かったでしょうか。
- 事務局 はい。再度確認をし、第5号の説明のところは修正します。ご一任いただきたいと思います。
- 中山会長 それでは、次に第3条の説明をお願いします。
- 事務局 **【追加資料1に基づき説明】**
条例の位置付け：市は、他の条例や計画を策定する際にこの条例の考え方に整合しないような条例や計画は策定しないことを言います。他の条例にも言えることですが、住民以外の市民に対しても拘束力を持ちます。
- 中山会長 ただ今、第3条「条例の位置付け」についての説明がありました。皆さんのご意見はいかがでしょう。
- 委員 **【意見・質問等なし】**
- 中山会長 特にご意見等はないようですので、ここも、事務局案のとおりとします。
- 次に第2章「まちづくりの基本原則」、6ページですが、第4条の説明をお願いします。
- 事務局 **【追加資料1に基づき説明】**
- 中山会長 ただ今、第4条「まちづくりの基本原則」についての説明がありました。皆さんのご意見はいかがでしょう。
- 委員 **【意見・質問等なし】**

中山会長 特にご意見等はないようですので、ここも、事務局案のとおりとします。

次に第3章「まちづくりを担う主体」、7ページですが、第1節「市民等」第1款「市民」。ここは、第5条と第6条の説明をお願いします

事務局 【追加資料1に基づき説明】

中山会長 はい。ただ今、第5条、第6条の説明がありました。ここは、法令用語上のルールによる修正ということですが、何かご意見はでしょうか。

委員 【意見・質問等なし】

中山会長 特にご意見等はないようですので、ここも、事務局案のとおりとします。

次に8ページ、第7条の説明をお願いします。

事務局 【追加資料1に基づき説明】

第3項「住民は、原則として自治会へ加入しなければなりません。」の記述について、再検討をお願いします。

「～しなければなりません。」は少し記述の仕方がきついので、「～するものとします。」という記述ではどうでしょうか。

中山会長 はい。ただ今、第7条の説明がありました。ここは、第7条と第8条の「自治会」と「まちづくり推進組織」を入れ替えて、第7条が「自治会」になっています。内容は説明にあったとおりです。

第3項ですが、ここでは「原則として自治会に加入しなければなりません。」となっていますが、皆さんのご意見はいかがでしょうか。

委員 市内の自治会加入率はどれ位ですか。

事務局 72%弱です。年々0.8%位ずつ下がっています。

委員 「原則として」という言葉が入ると、表現は少し弱まるわけですよ。

事務局 はい。しかし、「加入しなければなりません。」は、通常、例外規定がない場合の表現です。「原則として加入しなければなりません。」というのは、少し矛盾する表現かもしれません。

委員 前回の議論は、「加入しなければなりません。」では少し表現がきつすぎるという議論から「原則として」を加えたらどうかということだったと思います。それでも表現がきつすぎるのであれば「するものとします。」でも良いと思います。

委員 読んでみて、「原則として」が入っているとはいえ、後ろで「加入しなければなりません。」と強い記述がしてあると“きつい”と感じます。全ての市民が対象となる条例ですので、事務局案のとおり「加入するものとします。」が良いと思います。

委員 今、委員が言われたことは、大事なことだと思います。ここでは、「加入することが望ましい。」ということが言いたいのだと思います。加入については、することが望ましい。では、「退会」については、どういう捉え方をしたら良いのでしょうか。

中山会長 今の意見について、他の委員どうでしょうか。

委員 今回の「退会」を含めて、これから市民がまちづくりにどのように関わるかだと思います。根幹に関わる投げかけだと思います。事務局から、危惧する意見や、基本条例に反対する意見についての説明がありましたが、反対意見等をすべて受けて立つくらいの意識改革と気概が市民に相当求められると思います。それがまちづくり基本条例の根っこだと考えます。これからどういうまちづくりをしていくのかという制度設計にあたって、「自治会」を根っこにして活動していくのか、どうするのか。この議論が必要だと思います。そうすれば、おのずと「退会」についてどう扱ったら良いのかができてくると考えますが、いかがでしょうか。

委員 すみません。丁寧に説明していただきありがとうございます。今の意見については、よくわかるし、理解を示します。

この第3項から読み取れることは「できるだけ自治会に加入し、できるだけ退会はせず、自治会活動にも努めます。」というところでしょうか。自治会運営、自治会活動にも参加協力するということですから、退会については、「できれば退会しないでほしい。」という意味合いを持つのかもしれません。

ここで、最高裁の判例がありますが、「自治会退会を規制できない。」というものでした。つまり「退会は自由である。」というものです。これは、事務局も後で調べてみてください。しかし、最高裁は「自治会の活動について、理解と協力を示し、応分の負担をしながら、“ただ乗り”はしてはいけない。」としています。「自治会は地域の事情に合わせて運営され、住民は、応分の負担をしなければならない。」ということも言っています。ただ、「自治会を退会することはだめですよ。」ということとは言ってはいけないというものです。そうすると裏を返せば、自治

会加入を強制することは、問題があるのかもしれませんが。従いまして、先程委員が言われたように「原則として自治会へ加入するものとします。」ということでしたら、決して加入を強制するものでも、退会を制限しているものでもないと思います。後は、説明のところでしっかり説明していただければ良いと思います。

中山会長

その他、ご意見はありますか。

私たちは、自治会に入ってほしくて条例を作っておりますが、皆さんのご意見をお聞きすると「住民は、原則として自治会へ加入するものとします。」としたいと思いますが、皆さんいかがでしょうか。

委員

【異議なし】の声多数。

中山会長

それでは、10ページ、第8条「まちづくり推進組織」について、事務局、説明をお願いします。

事務局

【追加資料1に基づき説明】

中山会長

ありがとうございました。ただ今、第8条の説明がありました。ここも、第7条と第8条の「自治会」と「まちづくり推進組織」を入れ替えて、第8条が「まちづくり推進組織」になっています。内容は説明にあったとおりです。何かご意見はございますか。

委員

第2条の定義では、まちづくり推進組織は「～市民団体をいいます。」となっています。第8条では、まちづくり推進組織と地域の住民との関わりが記載してあり、市民との関わりが記載してありません。地域の住民以外の市民とまちづくり推進組織との関わりはどのように定義或いは位置付けがされるのでしょうか。

第7条第2項では、「市民及び市は、自治会の地域自治を担う重要な役割を認識し、その活動を尊重するものとします。」となっており、市民と自治会の位置付けがされています。まちづくり推進組織への市民の参加はどのように理解すれば良いのでしょうか。

市民と住民の定義の違いは理解できますが、実際に自治会やまちづくり推進組織が活動する具体例において、住民と市民の区別（使い分け）が今一つはつきりしないため質問します。

事務局

まちづくり推進組織のところで敢えて地域の住民と言っているのは、まちづくり推進組織の構成員が各地区に住所を有する

地域の住民であるので、地域の住民に活動への理解と参加を積極的に促しています。まちづくり推進組織の活動につきましては、各地区それぞれで行っておられ、他地区の市民団体等と連携して事業を行っている地区もあれば、そうでない地区もあり、一概に規定できないのが現状です。活動を行う中での市民との関わりは、一般的にいう市民団体と同様の扱いになるのだろうと考えます。第8条では、市民との関わりにおいては、定義はできていません。

委員 今の説明で、まちづくり推進組織が地域住民による組織というのであれば、第2条第3号「まちづくり推進組織」は、「～市民団体」としないと整合性が取れないのではないのでしょうか。

委員 今の委員のご指摘は、ちょうどこの条例の議論で抜け落ちた部分だと思います。多分その辺が根本的に市民の定義を広く捉えて、通勤者、通学者、企業、法人等を含め、まちを良くしていこうと言いながら、実際の活動のベースになる部分で自治会であったり、まちづくり推進組織の取り組みにおいて、最初に定義したような取り組みにならないところだと思います。この条例の中には、地域としてどのように活動するべきかというところが見えてきません。どうしても整合性が取れないところだと思います。ここは、条文を設けるべきだと思います。

中山会長 議長が発言するべきではないかもしれませんが、私は、第2条の定義で、まちづくり推進組織は、「～市民団体をいいます。」と言っていて、第8条第3項で「地域の住民が参加しやすいように活動を行います。」と言っていることに矛盾は感じません。他の皆さんのご意見をお願いします。

委員 私が当初から言ってきた、市民と住民の整合性というのは、このことを言っています。短時間では議論しきれないのかもしれませんが、まちづくり推進組織によっては、地域住民とかけ離れた活動になっているところもあるようで、かなり苦労しているようです。事務局の説明を聞いていると、「市民を巻き込んでのまちづくりに関する活動は、各地区のまちづくり推進組織が考えればいいことだ。」と言われれば、そこはそうかもしれませんが、しんどい部分もあると思います。

委員 現状において、まちづくり推進組織の活動では、市民の参加はどうなっていますか。

事務局 通常は、まちづくり推進組織の収入は、自治会費を通じての

会費で運営されている場合が多く、一般的には、地域の住民を対象に事業や活動を行うことが多いです。ただ、イベント等で、地域外の参加を受け入れる場合もあります。しかし、市民すべてを対象に事業を行わなければならないような記述はしにくいです。

委員 まちづくり推進組織のこれまでの活動を踏まえ、今後の活動を限定してしまったりすることは、避けた方が良いと思います。第2条第3号では、余計な説明を省いてしまい、「市民団体」の「市民」を取ってしまい、「団体」としてはどうかと思います。もし、団体に何か形容が必要な場合は、先程の意見のように「住民団体」にしても良いでしょうし、「地域団体」、「地域住民団体」でも良いかと思います。そうすればまちづくり推進組織の機能を将来に渡って限定しなくて済むと思います。

中山会長 ただ今の意見ですが、委員よろしかったでしょうか。

委員 はい。ただ今の説明でよく分かりました。特にこだわったわけではありませんが、「市民団体」という言葉が気になりました。この審議会にもまちづくり推進協議会の会長さんがおられますが、既に地域外の市民団体と連携した活動をしているまちづくり推進協議会もありますので、「市民団体」と「地域の住民」が気にはなりましたが、今の説明でわかりました。

中山会長 ありがとうございます。それでは、遡って第2条第3号「市民団体」の「市民」を取って、「～団体をいいます。」とします。

それでは、次に第9条の説明をお願いします。

事務局 **【追加資料1に基づき説明】**

中山会長 はい。ただ今、第9条の説明がありました。ここは、先程第2条の定義で説明があった「子ども」の定義を第9条にもってきています。何かご意見はございますか。

委員 **【意見・質問等なし】**

中山会長 特にご意見等はないようですので、ここは、事務局案のとおりとします。

次に第10条「市民活動団体」、12ページですが、説明をお願いします。

事務局 **【追加資料1に基づき説明】**

中山会長 はい。第10条の説明がありました。ここは、「NPO法人」を「特定非営利活動法人」に修正しています。何かご意見はございますか。

委員 【意見・質問等なし】
中山会長 特にご意見等はないようですので、事務局案のとおりとします。
次に、12ページ第2節「議会」です。事務局、第11条の説明をお願いします。

事務局 【追加資料1に基づき説明】
中山会長 はい。特に変更はありませんが、説明のところに「議事機関」の説明として日本国憲法第93条を引用したということです。何かご意見はございますか。

委員 【意見・質問等なし】
中山会長 特にご意見等はないようですので、事務局案のとおりとします。
次に、13ページ第3節「行政」です。第1款「市長」、事務局、第12条の説明をお願いします。

事務局 【追加資料1に基づき説明】
中山会長 はい。第12条について、何かご意見はございますか。
委員 説明のところですが、公共的団体等とはどのような団体のことでしょうか。
事務局 例えば、商工会議所ですとか、社会福祉協議会などの公共的な活動を行う団体です。
委員 公共の法人と考えれば良いのでしょうか。
事務局 民生委員児童委員協議会などの法人でない団体もあります。
委員 わかりました。確認のために質問しました。
中山会長 その他、いかがでしょうか。
ないようですので、次に14ページ第2款「執行機関」です。少し長いですが、事務局、第13条から第16条まで説明してください。

事務局 【追加資料1に基づき説明】
中山会長 はい。第13条から第16条までの説明がありました。審議会での議論の結果や法令用語上のルールによる修正がされていますが、何かご意見はございますか。

委員 【意見・質問等なし】
中山会長 特にご意見等はないようですので、事務局案のとおりとします。
次に、16ページ第3款「市の職員」です。第17条について、事務局の説明をお願いします。

事務局 【追加資料 1 に基づき説明】
中山会長 はい。第 17 条については、説明のところが若干修正されていますが、何かご意見はございますか。

委員 【意見・質問等なし】
中山会長 特にご意見等はないようですので、事務局案のとおりとします。

事務局 次に、16 ページ第 4 章「参加の仕組み」第 18 条、第 19 条について、事務局の説明をお願いします。

事務局 【追加資料 1 に基づき説明】
住民投票：住民投票は、市長の権限だけで実施できるものではありません。地方自治法第 74 条により、住民の 50 分の 1 以上の連署による住民投票条例の直接請求、市長による住民投票条例案の提出、市議会議員の 12 分の 1 以上の賛成による住民投票条例案の提出を経て、市議会で審議され、可決された場合に住民投票が実施されます。

中山会長 はい。第 18 条、第 19 条について説明がありました。何かご意見はございますか。

委員 【意見・質問等なし】
中山会長 特にご意見等はないようですので、事務局案のとおりとします。

事務局 次に、18 ページ第 5 章「実効性の確保」第 20 条について、事務局の説明をお願いします。

事務局 【追加資料 1、追加資料 2 に基づき説明】
中山会長 はい。ここは、前回の審議会で、「市民まちづくり会議」の役割や位置付けが不明確という意見に基づき、追加資料 2 がありました。ただ今第 20 条の説明と追加資料 2 の説明がありましたが、何かご意見はございますか。

委員 【意見・質問等なし】
中山会長 特にご意見等はないようですので、事務局案のとおりとします。

事務局 では最後に、18 ページ第 5 章「実効性の確保」第 21 条について、事務局の説明をお願いします。

事務局 【追加資料 1 に基づき説明】
中山会長 はい。第 21 条については、説明のところで、このまちづくり条例審議会の役割を記載しています。何かご意見はございますか。

委員 【意見・質問等なし】

中山会長 特にご意見等はないようですので、事務局案のとおりとします。

最後は急ぎましたが、最後の条文まで審議することができました。ありがとうございました。最後に全体をとおしてご意見等はございませんか。

委員 先程の第8条の審議の中で、まちづくり推進組織の活動は、地域の住民に限られたものではなくて、広く市民との関わりを持つという、現状と今後の展望という点で、私なりの解釈ですが、少し説明を補足させていただきます。このことは、第8条第2項の「運営ルールを明確にし」という中で、各地区の運営ルールを規約や活動方針で決めていただき、活動していただくことだと考えます。第8条第3項、第4項のところは、あくまでもまちづくり推進組織と地域の住民のことを言っているに過ぎないので、その範囲で、委員のご指摘の今後のまちづくり推進組織の活動の展望と矛盾するものではないと考えます。従いまして、ここは、このままで良いと考えます。

私は、この条例で素晴らしいと思うところは、子どもを定義して子どものまちづくりへの参加を明記したところだと思います。子どもは、義務教育や家庭教育等の中で、なかなかまちづくりには参加しにくいものです。そこのところを大人が意識するということは、次代を担う子どもにとって、大変良いことだと思います。そこで提案ですが、この審議会でも若者に参加してもらっていますが、次代を担う若者に「まちづくりに参加していいんだよ。」とか「期待されているんだよ」というような条文があっても良いと思います。例えば第9条「子ども」の次に第10条「若者」“若者（市民のうち、18歳から30歳未満の者をいいます。）は、地域社会の一員として自覚を持ち、まちづくりに参加することが望まれます。”というような条文を作ることはいかがでしょうか。或いは、子どもの条文と書きぶりを揃えても良いかもしれません。おせっかいと言われてしまうかもしれませんが、地元の皆さんのお考えがどのようなお聞きしたいと思います。

委員 私は実際、まちづくり活動に携わっていて、先程、他の委員からも発言がありましたが、最近、中京学院大学の学生さんや「東濃ぶれんどう」という若者中心の市民団体ですが、県外

の若者も協力してくれていて、活動を行っています。最近の若者は、我々とは考え方が違うので、地域が変わってきていますし、大変役立っているというか、お世話になっている状況です。

委員

これまでは、ベテランが道を開き、若者がそれを受け継ぐという関係があったと思うのですが、これからは、若者たち自身が市民としての自覚を持って、自発的に地域の課題や活性化のために公共的な役割を担っていいんだよということこの条例で訴えたらどうでしょうか。

中山会長

大変よい提案です。若者の意見を聞きたいです。

委員

瑞浪市に住んでいながら、大学は名古屋の方に通っています。成人式の実行委員をやっていましたが、これまではこういう機会もなく過ごしていました。こういう条例ができると、同級生や友達もまちづくりに参加しやすくなると思います。

委員

子どもの参加が条例に入っていて、18歳未満となっていると、18歳以上の私たちは「参加しなくていいのかな。」とってしまうので、条文に入っていると参加しやすくなると思います。この意見には賛成です。

中山会長

それでは、条文の文面は事務局の方で検討してもらいます。

委員

是非とも前文に記述して欲しいです。

委員

確かに前文には子育て世代と高齢者の記述はありますが、子どもや若者世代の記述がないので、記述を加えるべきだと考えます。前文は、この条例の基本的な理念を記述しないとイケないところなので、私も入れるべきだと思います。また、第9条のところで子どもと若者を一緒に記述しても良いかもしれません。

中山会長

事務局どうですか。

事務局

ただ今の皆さんのご意見を踏まえまして、中山会長やご意見をいただいた委員と調整を図り記述することとします。ご一任いただけますでしょうか。

中山会長

それでは、若者についても記述するということとします。

時間も迫ってきましたが、これをもちましてパブリックコメント前の条例案とします。一部調整が必要なところはございますが、事務局が調整するということですのでよろしく願います。条例案は、市の法令審査委員会での審査やパブリックコメントで市民の皆さんからの意見を受けて変更される可能性がありますのでご了承ください。また、最終的な条例案は、あく

までも市長が議会に上程することとなっています。審議会での役目は、条例案を審議し、市長に答申するところまでとなりますので、この点につきましてもよろしく申し上げます。

5. その他

今後の予定について

中山会長 それでは、レジメの5. その他、今後の予定についてですが、事務局より説明をお願いします。

事務局 **【資料3に基づき説明】**

次回第4回の審議会は、委員の皆さんのご都合を伺い、夜の開催の方が良いと思いますので、「12月16日（火）午後7時からこの場所で」ということでいかがでしょうか。

中山会長 事務局より提案がありました、どうでしょうか。

委員 **【異議なし】**

中山会長 それでは、次回、第4回まちづくり条例審議会は、12月16日（火）午後7時から午後9時まで、場所は市役所ということでお願いします。次回は最終審議ということ、市長への答申のためのまちづくり基本条例案に一定の結論を出すということになります。この答申をもって私たちの役割は終了ということになりますので、よろしく申し上げます。

本日の最後は、山内副会長のあいさつで終えたいと思います。山内副会長をお願いします。

山内副会長 本日は、長時間に渡り活発な審議をしていただきました。いろんなご意見、ご指摘をいただきました。次回が最後の審議会になりますが、答申のための条例案を作成することになりますので、ご協力をお願いします。本日は、お疲れ様でした。ありがとうございました。

6. 閉会